下水道応用研究公募　応募書類様式

１．応募時は様式１～５を参考にし、以下の書式に従って記載してください。

２．用紙は、Ａ４判を利用し、左とじにしてください。

３．応募書類は、日本語で作成し、指定した枚数を大幅に超えることや枠をはみ出して作成することのないようお願いします。また、文字の大きさについては10.5pt以上としてください。

４．提出部数は、応募書類１部、添付書類１部、審査用書類１部（固有名詞削除版）、電子ファイル(PDF版（固有名詞削除版も）) を提出願います。

５．別紙１「応募書類受理票」は、下線部分について記載してください。また、正のみ研究代表者の氏名の横に、押印をお願いします。提出部数等に漏れがないことを確認の上、提出してください。

様式－１

応募書類受理票

応募書類受理番号

下水道応用研究テーマ名:

平成３１年　　月　　日

法人名：

法人代表者名：

所在地：〒○○　○○県○○市…

※複数者の場合は、並列して記載すること。

研究代表者： 所属

　　　　　　 役職名

　　　　　　 氏名　　 　　　　　　　　　　　印

　　　　　　 住所

　　　　　　 TEL

　　　　　　 E-Mail

応募書類チェックリスト

　　□応募書類　１式

　　　　（応募様式、実施計画の見込み、平成31年度必要経費概算、研究者・代表者データ）

　　□提案技術の説明資料・パンフレット

　　□過去の類似研究の説明資料

-------------------切取線--------------------------割印------------------------

応募書類受理番号

下水道応用研究テーマ名:

応募書類受理票

法人名

平成３１年　　月　　日

研究代表者名　　　　　　　　　　　　殿

貴殿から提出された標記応募書類を受理しました。

　〒100-8918　東京都千代田区霞が関２－１－３

国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課　河本　武　　　印

様式－２

|  |
| --- |
| **下水道応用研究公募　応募様式** |
| ①下水道応用研究課題 | 公募課題①～⑤の内、該当するものを記載してください。公募課題⑤で応募される場合は、下水道応用研究実施要領の１．２⑤に記載の「下水道を巡る現状及び近年の社会状勢の変化」に示された課題のどれに該当するか記載してください。 |
| ②下水道応用研究テーマ名 | 自由に命名してください。以後、これが提案研究の固有名詞として扱われます。研究の内容を簡潔に表す名称とし、地方公共団体名等の固有名詞は入れないでください。 |
| ③下水道応用研究の概要 | 技術革新性、導入可能性、実現可能性の視点にも着目して記載してください。※２枚程度とします。（背景・課題）（目的）（下水道応用研究内容・成果） |
| ④研究代表者 | 氏名 | ○○○○（A-1） | 年齢 | 職名 |  |
|  | 専門分野 |  |
| 所属機関（連絡先） | ○○株式会社（A社） |
| ⑤下水道応用研究の目標と計画 | 目標とする成果の内容を具体的に記載してください。また、その目標を達成するために、どのような研究を行うのか、具体的かつ詳細に記載してください。※３枚程度とします。 |
| ⑥下水道応用研究実施体制 | 適正な人員配置による実施体制であることを図示などによりわかりやすく記載してください。 |
| ⑦共同研究者（共同研究体を構成する各機関の代表者、担当者を全て記載してください。） | 氏名 | 年齢 | 所属・役職 | 研究分担内容 |
| ○○○○（A-2） |  | ○○（A社）・○○課長 |  |
| ○○○○（B-１） |  | ○○（B社）・○○部長 |  |
| ○○○○（B-2） |  | ○○（B社）・○○課長 |  |
| ○○○○（C-１） |  | ○○（C社）・○○課長 |  |
| ○○○○（C-2） |  | ○○（C社）・○○主任 |  |

様式－２（補足）

様式－２、様式－５　を作成するにあたり、下記にご留意ください。

たとえば、○○株式会社（研究代表者）、●●株式会社、△△大学、■■市町村で共同研究体を構成される場合、マスキングをお願いした際に、各資料との突合が見えにくいケースがあります。

○○株式会社（A社）

●●株式会社（B社）

△△大学（C社）

■■市町村（D社）

と記載いただき、マスキングを行う場合は、社名等のみを消していただきますようお願いいたします。

以下がマスキングの例です。

○○株式会社（A社）

●●株式会社（B社）

△△大学（C社）

■■市町村（D社）

同様に、研究に従事する者につきましても、同様の記載をしてください。

たとえば、

国土　太郎（A-1）　←　A-1とは、A社の研究従事者の背番号となります。

国土　次郎（A-2）

土国　三郎（B-1）　←　B社の研究従事者の一人目を意味します。

下水　太郎（C-1）　←　C社の研究従事者の一人目を意味します。

であれば、マスキングを行うと、

国土　太郎（A-1）

国土　次郎（A-2）

土国　三郎（B-1）

下水　太郎（C-1）

となり、マスキングをしても、いずれの社の職員かが判明します。

資料作成にあたって、ご留意いただきますようお願いいたします。

様式－３

下水道応用研究計画（例）

＜実施フロー＞

|  |
| --- |
| ○○○○の開始　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※おおよその従事期間（○○日間）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　を記述）○○○○の調整・打合せ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）○○○○の準備○○○○の準備○○○○の準備　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）○○○○の開発○○○○の実験○○○○の分析　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）○○○○の検証　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）とりまとめ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
|  |

様式－３

＜工程計画＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究項目 | 平成３１年度 | 特記事項 |
| ○月 | ○月 | ○月 | ○月 |
| ○○（約○日間） |  |  |  |  |  |
| ○○（約○日間） |  |  |  |  |  |
| ○○（約○日間）（◇◇◇に再委託） |  |  |  |  |  |
| ○○（約○日間） |  |  |  |  |  |
| ○○（約○日間） |  |  |  |  |  |
| 報告書とりまとめ |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

注）下水道応用研究の一部を再委託などにより実施（外注）する場合は、各項目においてその範囲が明確に分かるよう区分してください。様式－４

平成３１年度の必要経費概算

　※　研究に必要な経費の概算額を、（参考資料）委託研究処理科目別区分表（次ページ）に定める科目区分に従って、記載してください。

　※　平成31年度の必要経費のみについて作成してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　目 |  金額（円） | 積　算　内　訳（概略） |
| 人件費 | ○○,○○○ | 次ページを参照し、内訳概要を記載ください。 |
| 諸謝金 | ○○○ | 次ページを参照し、内訳概要を記載ください。 |
| 旅費交通費 | ○○○ | 次ページを参照し、内訳概要を記載ください。 |
| 庁　　　費（下記費目別に記載）1. **備品費**
2. 消耗品費
3. 借料及損料
4. 印刷製本費
5. 通信運搬費
6. 光熱水料
7. 賃金
8. 会議費
9. 外注費
 | **0**○,○○○○○○○○○○○○○○○○,○○○○○○○○,○○○ | 次ページを参照し、内訳概要を記載ください。**※ 備品費は本研究では計上不可です。****※ パイロットプラント等（計測器含む）のリースに係る経費は、「借料及び損料」に計上してください。** |
| 間　接　費　　　諸　経　費 | ○○○,○○○（諸経費率：○○％） | ※ 諸経費は（直接費―外注費）×諸経費率より算出した額とします。※ **なお、諸経費率は1０％の範囲内とします。** |
| 合　　　　計（税込み） | ○,○○○,○○○ |  |

様　式－４

（参考資料）

　委託研究処理科目区分表

|  |  |
| --- | --- |
| 科目区分 | 内　訳 |
| 直接費 | 委託研究に直接必要な人件費、諸謝金、旅費交通費、庁費です。 |
| 　　 | 人件費 | 委託研究に直接従事する研究担当者（大学等の職員※・招聘研究者、公益法人の職員又は民間会社の社員）の給与及び法定福利費です。※交付金等により国から給与が支給されている国立大学法人等の職員を除きます。 |
| 諸謝金 | 委託研究に直接協力する者に対する報酬及び謝金で、時間数、人数及び回数を計上します。 |
| 旅費交通費 | 委託研究に直接従事する研究担当者の調査などに要する費用で、出発点と旅行先を記し、人数及び回数を計上します。 |
| 庁費 | 委託研究に必要な次の（1）～（9）の項目について計上します。 |
|  | （1）備品費 | **本研究では計上不可です。** |
| 備品とは、1点50,000円以上かつ長期(1年以上)の反復使用に耐える物品を指します。ただし、携帯電話、スマートフォン、タブレット及びデジタルカメラについては上記に係わらず備品とみなします。（なお、当該委託研究で償却するものは、「その他」で消耗品として積み上げ計上するものとします。） |
| （2）消耗品費 | 文具、材料、機器具等に区分して計上します。また、金額・数量及び及び研究計画における各研究項目毎との関係が分かる資料を添付してください。 |
| （3）借料及損料 | 機械借上げ等の使用数量及び日時数を計上します。**パイロットプラント等（計測器含む）のリースに係る費用は、これに計上します。** |
| （4）印刷製本費 | 報告書、資料等に区分し、数量を計上します。 |
| （5）通信運搬費 | 電報電話料、郵便料、運搬費に区分して計上します。 |
| （6）光熱水料 | 電気料、ガス料及び水道料に区分して計上します。 |
| （7）賃金 | 非常勤職員（アルバイト等）の延員数を計上します。 |
| （8）会議費 | 会場借上げ等の使用回数又は日時数を計上します。 |
| （9）外注費 | 　　研究に必要な調査、試験、実験、計算、機械器具等の修理、その他の雑役務に区分して、それぞれ一式金額で計上します。ただし、備考として用途を簡潔に記述、または、別紙で｢内訳書（専門業者の見積書等）｣を添付してください。 |
| 間接費 | 委託研究処理に必要な経費のうち直接費以外の諸経費について計上します。諸経費は（直接費―外注費）×諸経費率より算出した額とします。なお、諸経費率は1０％の範囲内とします。 |

注）共同研究者の所属機関は、契約書（案）第３条に規定する｢第三者｣には該当しません。

様式－５

研　究　履　歴

※研究に参加する人数全員の様式を作成ください。

１．氏名・年齢（生年月日）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな氏　　　名 | 年齢 | 生年月日（西暦） |
| こくど　たろう国土　太郎（A-1） | ○○ | １９○○年○月○○日 |

平成31年4月1日時点の年齢

２．（所属機関がある場合）所属機関名・部署名・職名・連絡先

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属機関名（勤務先） | ○○○ | 部署名 | ○○部　○○課 |
| 職　　名 | ○○ |
| 連絡先(勤務先) | （〒○○○－○○○○）東京都港区○○５－３－２ | TEL：０３-○○○○-○○○○ |
| FAX：０３-○○○○-１２３４ |
| E-mail：t.kokudo@oo.ｊｐ |

３．最終学歴

|  |
| --- |
| ○○○大学大学院　○○研究科博士前期課程○○工学専攻修了（修士）○○大学　○○学部○○工学科卒業（学士）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　など |

４．研究歴（主な職歴と研究内容）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年　月 | 職　歴 | 研究内容 |
| ２０１○．４２０１○．８ | ○○○大学助教○○○大学准教授 | ○○に関する研究○○○○検証研究 |

様式－５

５．受賞歴、表彰歴、資格

|  |  |
| --- | --- |
| 年　月 | 受賞名・内容 |
| ２０１○．８２０１○．８２０１○．９ | ○○学会「○○○賞」技術士（技術部門：上下水道）技術士（技術部門：○○）　等 |

６．研究成果等

|  |
| --- |
| ・主な研究論文及び著書 |
| 1) | ○○○、○○論文報告集 |
| ・特許等取得件数：　○○　件 |
| １） | ○○○ |
| ・研究成果 |
| １） | 研究報告「○○に関する研究報告」201○年○月 |

７．他の競争的資金制度、補助金等からの助成の有無

（財団法人の研究助成事業等、国以外が行っている助成制度も含めます。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研究制度名 | 研究開発課題名(と役割) | 研究資金の額（単位：百万円） | 研究期間 |
| ○○制度（△△省）　 | ○○に関する研究開発（研究代表者） | △△ | Ｈ○○～Ｈ○○ |

申請者氏名　国土　太郎（A-1）

参考資料　国土交通省による下水道技術開発支援の全体像

